

歯科医の訪問診療について



もとさわ歯科

院長 相原 康弘 先生

— 歯科医師の訪問診療とは？

皆様ご存知の通り、現在は超高齢化社会です。私が開業している地域は高齢化率45パーセントを超えています。普通の医者への受診率は高齢になっても落ちることはありませんが、歯科の場合は年齢を重ねるにつれて受診率が落ちていきます。継続した治療が必要でも、受診ができない。そこに歯科医の訪問診療の必要性があると思っています。患者さんの自宅や施設を訪問して歯の治療、ケアを行います。



— 歯科医として大切にしていることは？

キュアよりケア、治療よりも支援というイメージを大切にしています。最近では歯の治療だけではなく、口腔内ケア、嚥下機能も重要視しています。認知症の方が増えており、今後増えると予想されます。認知症の3割～4割程が、摂食、嚥下障害をかかえていると言われており、継続してみていく必要があります。受診できない方にこそ、訪問診療を行い、在宅でも継続的に支援していく必要があると思います。治療よりも予防が重要であると考えています。

— 訪問診療をおこなっている歯科医の見つけ方は？

県または市の歯科医師会に連絡すれば、教えてもらえると思います。今はネット検索でも訪問診療に対応しているかどうかともわかると思います。ケアマネージャーさんから依頼がくることもあるので、ケアマネージャーさんに相談されても良いと思います。



— 患者さんに知っておいてほしいことは？

まずは歯科医による訪問診療があるということを知っていただければと思います。

また、薬剤性の嚥下障害についても知っておいていただきたいです。文字通り、薬が原因で嚥下機能に影響が出てしまうことです。気になった方は主治医の先生や薬剤師さんにご相談いただくと良いと思います。

また、骨粗しょう症の治療薬であるビスホスホネート製剤を飲んでる方は、抜歯の際、一度薬を中止することが必要なため、お薬手帳等をご持参いただくか、骨粗しょう症の治療を行っている旨をお伝えください。

花粉症



春が近づいてきて花粉症が気になり始める方も多いのではないのでしょうか。今回は花粉症について理解を深めていただければと思います。

まず花粉症の症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまりが3大症状です。風邪も同じような症状はありますが、花粉症ではかなりの頻度で眼症状（目のかゆみなど）が見られる点が風邪との大きな違いです。

花粉症の原因となる植物は樹木と草花に分けられます。樹木の花粉は高い木から風に乘って遠くまで飛散するため近くに樹木がなくても花粉が飛んでくる可能性が高いです。一方、草花の花粉は遠くまで飛びにくいいため草花が生えている場所に近づかなければ花粉が飛んでくる可能性は低くなります。春の花粉症はスギ・ヒノキが主な原因植物ですので風に乗って花粉が遠くから飛んできやすいです。花粉を除去や回避することは、症状が強く出ないために大切です。生活の中で行える回避方法を4つ紹介します。

① ニコスなどの花粉情報に注意し、飛散の多い時の外出を控え、窓・戸を開けておく

② 外出時にマスク・メガネを着用する

③ 外出時、毛織物などのコートは避ける

④ 帰宅時、衣服や髪をよく払ってから入室し、洗顔・うがいを行う。

前述の方法を行っても花粉を完全に避けることは難しく、病院で処方される薬や市販薬を服用することが主な花粉症への対応になると思います。最後に抗アレルギー薬を服用するうえでポイントを紹介いたします。

1つ目は飲み合わせです。抗アレルギー薬は鼻症状を軽減する他に痒みを抑える効果もあるため皮膚科で処方されることも少なくありません。また市販の風邪薬にも抗アレルギー薬が含まれていること

があります。薬の成分が重複して副作用があらわれる可能性もありますので、病院受診時や市販薬購入時にはお薬手帳などを利用して飲み合わせを確認してもらいましょう。

2つ目は服用開始時期です。症状が出る季節の直前から服用し、季節終了まで続けることが望ましいと言われております。直前から服用を開始することで花粉が本格的に飛散し始めても薬の効果が安定して持続し、ピークを避けることに期待できると言われております。ただし効果には個人差がありますので人によっては他の方法が適している場合もあります。

花粉症かもしれないと思う方は一度アレルギー検査を検討してみてもいいかもしれません。原因を知ることによって気をつける時期に合わせて対応がしやすくなると思います。

上花沢薬局
薬剤師 吉谷地春樹



上花沢薬局

〒992-0026 山形県米沢市東三丁目4-38
TEL.0238-27-0265 FAX.0238-27-0266

花粉症のシーズンですね。マスクや眼鏡、帽子等で予防しましょう。症状がひどい場合は早めの受診もご検討ください。